

平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

1. はじめに

平成 30 年度は6月の総会において役員改選を行い、新たな体制のもと各事業の運営を行った。

基幹事業である宮城県芸術祭では、昨年から行った統一テーマの設定を継続し、本年度のテーマを「結びⅡ」として開催した。前回以上に統一テーマに対する部としての意欲的な取り組みも見られるなど、各部における理解の深まりも見られた上に、各部合同企画により実施した特別企画「結びⅡ～過去・現代・未来を結ぶ～」では、7つの部が一つのステージで融合するプログラムを行い、企画・運営を通し、部門間で交流が深められ、来場者にも好評を博す舞台となるなど、確かな成果を残すことができた。

芸術祭以外の事業としては、平成 7 年より実施してきた韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との国際交流事業を、本年度、最後の事業として開催。両国の伝統文化に基づいた舞台公演を行い、満席となる多くの来場者にも恵まれ、集大成の名にふさわしい事業として終了することができた。なお、台湾の交流団体への研修旅行を通じての訪問及び宮城県との連携模索など、今後の国際交流事業の在り方の検討作業も始めた。

また、次年度へ向けた取り組みとして、各部と今後の事業運営・予算等の共通理解を図るヒアリングを実施。今後の協会運営の礎とする事業の進め方について理解浸透も図った。

平成 30 年度は事業運営の過渡期とも言える年度として、財務面も含め今後の事業の在り方の検証、検討を進め、基盤整備を行う1年となった。

2. 会員状況

正会員及び名誉会員の総数は、前年度末 2,022 名から当年度末 1,997 名で、25 名の減少となった(新入会員 94 名・退会会員 119 名)。また、賛助会員の個人・団体の合計数は前年度末 97 から当年度末 120 件(団体 87、個人 33)。前年比 23 件(新規 28[団体 22、個人 6]、退会 5[団体 4、個人1])の増加。過去 3 年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	H27	H28	H29	H30			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	89	90	91	89	1	90	△1
絵画部 (洋画)	305	319	333	342	4	346	13
彫刻部	36	39	39	39	1	40	1
工芸部	96	95	86	86	1	87	1
書道部	431	428	416	402	2	404	△12
華道部	172	170	158	147	0	147	△11
邦楽部 (三曲)	29	27	35	39	0	39	4
邦楽部 (長唄)	45	39	36	34	0	34	△2
洋楽部	112	118	126	134	0	134	8
演劇部	1	1	1	1	0	1	0
文芸部	288	273	253	238	2	240	△13
舞踊部	4	4	10	13	0	13	3
茶道部	326	315	316	302	0	302	△14
写真部	120	123	122	119	1	120	△2
計	2,054	2,041	2022	1,985	12	1,997	△25
賛助会員	21	94	97	—	—	120	23
合 計	2,075	2,135	2,119	—	—	2,117	△2

3. 会議に関する事項

定時総会、理事会及び監事会を次のとおり実施した。

(1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6月3日	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算の承認について 第2号議案 役員を選任について

(2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4月20日	芸術協会 会議室	第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算の承認について 第2号議案 役員候補者の推薦について 第3号議案 平成30年度定時総会の開催について 第4号議案 正会員の入会承認について 第5号議案 賛助会員の推薦について
第2回理事会	6月3日	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 理事長及び執行理事の選任について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 参事の推薦について 第4号議案 正会員の入会承認について 第5号議案 賛助会員の推薦について
第3回理事会	8月3日	芸術協会 会議室	第1号議案 正会員の入会承認について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第4回理事会	12月14日	芸術協会 会議室	第1号議案 2019年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第5回理事会	3月15日	芸術協会 会議室	第1号議案 2019年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 正会員の入会承認について 第3号議案 賛助会員の推薦について

※第3回・第5回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

(3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4月11日	芸術協会 会議室	平成29年度事業報告及び決算の監査について

4. 事業について

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する55回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団との7団体共催により開催した。

本年度の統一テーマは「結いⅡ」。9月21日(金)に開会式(会場:せんだいメディアテーク・参加者83名)を行い、9月30日(日)には写真部・邦楽部(三曲)・茶道部・工芸部・彫刻部・絵画部・洋楽部による特別企画「結いⅡ～過去・現代・未来を結ぶ～」(会場:せんだいメディアテーク・来場者590名)を開催。11月21日(水)には表彰式(会場:ホテルメトロポリタン仙台・参加者262名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

①展示関係事業

せんだいメディアテークを会場とし、会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
工芸展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 5F	2,101 名	73 点
写真展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 5F	2,390 名	88 点
彫刻展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 6F	1,743 名	33 点
絵画展	9/28～10/3	せんだいメディアテーク 5・6F	8,065 名	日本画 42 点・洋画 195 点・役員等 79 点
華道展	10/5～10/10	せんだいメディアテーク 5F	2,395 名	前期 35 点・後期 34 点
書道展	10/5～10/10	せんだいメディアテーク 5・6F	3,972 名	293 点

※会期内各展の催し等を次のとおりに実施した。

- ◎工芸展:特別企画「結いⅡ～過去・現代・未来を結ぶ～」の第2部「茶の世界 過去・現代・未来」において使用する茶道具作品を、イベント開催日に先行して会期内に展示した。
- ◎写真展:統一テーマ「結い」の企画展示として、①「渾身一枚」[写真部初期の会員3名による「渾身一枚」の作品展示]、②「マジ卍」(温故知新)[若手作家作品のモニター展示]、③「復興いま」[震災復興をテーマにした作品のモニター展示]、④「あえて残す」(平成と呼ばれた時代)[平成を記録した写真集の展示]を実施した。
- ◎写真展(9/22)、彫刻展(9/22)においてそれぞれギャラリートークを実施した。
- ◎華道展:チャレンジ席を設けて会員以外の作品(前期6点・後期5点)を展示。また、会期内中に「いけばなデモンストレーション 2018～ライブで楽しむ『いけばな』～」を7流派が日替わりで担当し、実施した。
- ◎書道展:受賞者による揮毫会を10月7日(会場:メディアテーク6階ホワイトエ・来場者151名)に実施した。

②演奏関係事業

邦楽部(長唄)、洋楽部において次のとおり演奏会を開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	出演者数
長唄演奏会	10/21	日立システムズホール仙台	128 名	20 名
音楽会	11/9	日立システムズホール仙台	507 名	会員 30 名・外部出演 5 名

③文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり実施した。

文芸祭では文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読、公募の入選発表と表彰を行った。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/3～10/4	福島県浜通り地区	—	参加者 39 名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	750 部発行
文芸祭	10/27	東京エレクトロンホール宮城	146 名	—

※文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ()=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
高校生・一般	15(15)	97(48)	150(65)	166(73)	13(13)	441(214)
ジュニア	38(38)	303(218)	121(82)	31(16)	—	493(354)

④茶会

茶道部において茶会を次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
茶会	10/14・21・28	輪王寺	3,846名	13流派参加

⑤人材育成事業

県民の幅広い参加の促進と、各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり企画した。

なお、彫刻公募展は本年度の開催を見合わせた。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
写真公募展	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 5F	2,390名	入選 99点(応募 377点)
絵画展(公募の部)	9/21～9/26	せんだいメディアテーク 6F	1,743名	103点

b. 音楽コンクールの実施

昨年度コンクールの受賞者への特典とするガラ・コンサートを次のとおりに開催。コンサートでは洋楽部会員による管弦楽団を構成し、出演者と共演した。

また、ピアノ部門、ヴァイオリン部門の2部門での音楽コンクールの予選と本選を、次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
受賞者によるガラ・コンサート	10/7	日立システムズホール仙台	受賞等出演 22名、管弦楽団 29名	498名
第39回音楽コンクール	予選	2/17	日立システムズホール仙台 ピアノ部門予選出場:123名 初級A:19名、初級B:15名 中級A:32名、中級B:29名 上級A:20名、上級B:8名 ヴァイオリン部門予選出場:43名 初級:21名・中級:18名・上級:4名	595名
	本選	3/17	日立システムズホール仙台 ピアノ部門本選出場:73名 初級A:13名、初級B:7名 中級A:20名、中級B:16名 上級A:12名、上級B:5名 ヴァイオリン部門本選出場:47名 初級:16名・中級:15名・上級:3名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:11名 ツイゴイネルワイゼンコンクール:2名	601名

c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第1回写真セミナー	7/13	芸術協会 会議室	13名	講師:佐々木 光一 会員
第2回写真セミナー	8/10	芸術協会 会議室	10名	講師:加藤 友一 会員
第3回写真セミナー	9/22	せんだいメディアテーク 7F	18名	講師:笹川 義信 会員
第4回写真セミナー	10/12	芸術協会 会議室	13名	講師:吾妻 克美 会員
第5回写真セミナー	11/16	芸術協会 会議室	13名	講師:落合 英俊 会員

※これまで報告した事業に加え、第49回洋舞公演(10月8日、会場:東京エレクトロンホール宮城、来場者948名)、第62回仙台三曲協会定期演奏会(10月14日、会場:日立システムズホール仙台、来場者319名)、歳末たすけ合い第56回各流舞踊大会(12月3日、会場:電力ホール、来場者1,005名)、を芸術祭参加行事とした。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

定款第4条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第55回宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/14～12/20	東京エレクトロンホール宮城	1,008名	会員の部 40点 公募の部 18点
宮城県芸術協会絵画部門 現運営委員等の「現在と過去」Ⅲ期 [共催:カメイ美術館]	1/29～3/10	カメイ美術館	1,515名	58点
みやぎミュージックフェスタ 2018 in ざおう [共催:蔵王町・蔵王町教育委員会 公益財団法人宮城県文化振興財団]	2/3	蔵王町ふるさと文化会館	452名	本協会出演等会員 20名

※「宮城県芸術協会絵画部門 現運営委員等の『現在と過去』Ⅲ期」では会期内イベントとして、作家による作品解説(2月16日・来場者92名)と、本協会洋楽部会員4名によるギャラリーコンサート(3月2日・来場者148名)を実施した。

②伝統文化体験事業

茶道の普及啓発を目的とし、河北新報社との共催による茶会を次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第22回社の都大茶会	5/26・27	勾当台公園	8,842名	13流派参加

③人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
県民との美術交流・ギャラリートーク	9/29	せんだいメディアテーク 5F・6F	87名	講師:倉本 信之 氏 菅野 秋恵 氏
第5回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/3～9	東京エレクトロンホール宮城	302名	作品展示数:41点 応募:108点

事業名	期日	学校	対象学年	担当会員
書道部による県内小中学校への 講師派遣事業	11/1	大河原町立大河原小学校	4年	池田 僊雲
	11/27	七ヶ宿町立七ヶ宿中学校	1～3年	池田 僊雲
	11/29	大崎市立志田小学校	3～6年	千葉 華紅
	11/30	塩竈市立月見ヶ丘小学校	5～6年	建部 恭子
	12/4	栗原市立瀬峰中学校	1～3年	後藤 法明
	12/4	気仙沼市立水梨小学校	3～6年	菊田 杏仙
	12/5	大崎市立松山中学校	1～3年	大町 青蓮
	12/6	亶理町立吉田小学校	3～6年	中塚 仁
	12/7	仙台市立鹿野小学校	6年	工藤 志香
	12/14	仙台市立錦ヶ丘小学校	5年	村山 柳雅
	12/20	気仙沼市立気仙沼小学校	3～6年	武山 櫻子
	12/25	大和町立小野小学校	3～6年	後藤 大峰

④後援事業

「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」など、本協会に本年度申請された 78 件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業 3】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

①東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会を含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会主催の交流協議及び事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	備考
東北・北海道交流事業文化講演会	6/14	ホテル福島グリーンパレス	「福島の合唱の歴史と今」 講師:菅野 正美 氏(福島県合唱連盟理事長) 合唱:福島市内高校合唱部の皆さん

※協議会事業1 『東北・北海道芸術文化団体協議会総会』開催 6月14日 於:ホテル福島グリーンパレス

※協議会事業2 『機関紙「北斗」(43号)の発行』2月28日付発行 1,500部

特集「わが県・道における伝統芸術又は現代の芸術活動における次世代育成の取り組み」

本協会執筆担当:佐藤 皖山 執行理事(邦楽部 / 三曲)

②仙台・大邱国際芸術交流事業

韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との国際芸術交流事業を、本協会は華道、三曲、長唄、日本舞踊、茶道、大邱側は国楽及び声楽(オペラ)の分野の出演者による舞台公演として実施した。

また、本公演開催にあたり、大邱側より協会役員及び出演者による24名の訪問団を7月9日から12日の日程で受け入れ、7月11日にはエクスカーション(松島方面)及び交流懇親会(会場:パレスへいあん)なども実施した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
仙台・大邱国際交流公演 「日本と韓国の芸術文化の交流～ 22年間の大邱国際交流を祝して」	7/10	日立システムズホール仙台	535名	大邱訪問団:24名 (役員等14名・出演者10名)

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第4条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行 (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業一に関する事業を次のとおり実施した。

①主に本協会会員の研修の機会とし、資質の向上と創作・発表活動の活性化に資することを目的としながら、多くの県民にも参加の機会を提供する事業として、各研修事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
絵画部スケッチ研修会	5/26～27	福島県会津若松方面	15名	
講演会	6/3	仙台市福祉プラザ	128名	演題:「被災地からの声 ～震災8年目の現実～」 講師:津田 喜章 氏
書道部研修会	10/7	せんだいメディアテーク7F	106名	講演会「金石について」 講師:伊藤 滋 氏
第45回研修旅行	10/27～31	台湾(台北・台南)	19名	

②本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため、機関紙「はなやま」を次のとおり発行した。また、隔年発行による会員名簿を発行した。

事業名	発行号数	発行日	発行部数	内容
機関紙「はなやま」発行	216号	5/7	2,550部	総会告知、新入会員一覧、各事業案内・報告等、平成30年度事業計画・予算書
	217号	7/31		理事長就任挨拶、総会・理事会・役員就任報告、各事業案内・報告等、平成29年度決算報告・収支決算、
	218号	10/31		第55回宮城県芸術祭報告、芸術祭受賞者一覧、平成29年度芸術選奨受賞会員報告、各事業報告等
	219号	1/31		理事長年頭挨拶、第55回宮城県芸術祭報告、各事業報告等、協会アンケート実施報告

事業名	発行日	発行部数	備考
「会員名簿」発行	7/1	2,400部	役員改選に伴うもの